

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212T401	精神看護学実習 (Clinical Practice of Psychiatric and Mental Health Nursing)	専門教育科目 精神看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	担当教員
必修	2	4	前	岩本祐一 内線：5074 E-mail：yiwamoto@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

精神を障害された個人およびその家族を理解し、精神の健康の回復に向けた治療的な関わりができる基礎的な能力を養う。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 精神障がい者をありのままに捉えることができる。	○						
2. 精神障がい者と治療的患者—看護師関係を構築することができる。		○					
3. 対象の個性にあった看護過程を展開する事ができる。			○				
4. 精神医療における看護の役割・機能を説明することができる。					○		
5. 看護学生として、治療チームの一員として責任ある行動や主体的な学習態度をとれる。							○

【授業の内容】

1. 実習場所

- ①大分大学医学部附属病院 2階北病棟
- ②博愛病院精神科デイケア

2. 実習方法

- ・大分大学医学部附属病院 2階北病棟および博愛病院精神科デイケアにおいて各々1週間ずつ実習する。
- ・各施設にて1名の入院患者および利用者を受け持ち、オレム・アンダーウッドのセルフケアモデルを用いて、対象を理解し、必要な援助について学ぶ。
- ・各施設で実施されている精神科リハビリテーションに参加する。

【アクティブラーニング（D：知識の活用・創造）において学生がより深く学ぶための工夫】

- ・実習事前オリエンテーションにおいて、施設見学を行い、実習開始までにどのような準備をすればよいのか、学生が主体的に考える機会をもつ。
- ・実習最終日には、2つの施設での実習で学んだことをグループでまとめ、ディスカッションを通して精神障がい者の理解を深めると共に、実習目標の達成状況、精神看護を実践するにあたっての自己の課題を明確にする。

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	実習開始までに自身の学習課題を明確にし、精神看護学で使用した教科書や配布資料を用い学習を行う。 (10h)
事後学修	毎日の記録物の提出を通して、看護実践を振り返りながら翌日の看護実践に向けた準備を行う(20h)。

【教科書】

精神看護学で使用した教科書および配布した資料を活用する。

【参考書】

参考文献等は適宜提示する。

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
精神看護学実習評価表、実習記録物	80%	○	○	○	○	○
実習への意欲、態度等	20%		○	○		○

上記を総合して評価を行う。

【注意事項】

【備考】

担当教員の実務経験の有無	<input type="radio"/>	
教員の実務経験	看護師	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	<input type="radio"/>	
教員以外の指導に関わる実務経験者	看護師、医師、臨床心理士、精神保健福祉士、作業療法士	
実務経験をいかした教育内容	保健医療、福祉の分野の施設で、精神看護学に関する実習を行う。	
授業形態		